

研究テーマ	〔 I 素材（材料や用具,場所など）と出会い, かかわること〕 気付いたことや感じたことを確かめながら, 自分なりのイメージをもち, 思いのままに表す造形活動の指導 一小学校 1 年生・造形遊び「しんぶんしで大へんしん！」における学習過程の工夫を通して一
-------	---

笠間市立北川根小学校 教諭 野沢 恵美子

## 1 研究テーマについて

A 表現（1）の材料を基にした造形遊びは, 遊びのもつ自由な雰囲気の中で, 児童が材料に全身でかかわり, そこから得た自分の感覚や行為などから次の活動を思いついて試していくなど, 思いのままに表していく活動である。「みて感じてはつくり, 試してつくっては感じて, みる」など表現と鑑賞がまさに一体となって, 児童の創造活動の基礎的な能力を伸ばしていく造形活動であるといえる。

小学校学習指導要領解説図画工作編（平成 20 年 8 月）では, 「表現と鑑賞はそれぞれ独立して働くものではなくお互いに働きかけたり, 働きかけられたりしながら, 一体的に補い合って高まっていく活動である。」と述べられている。特に鑑賞の指導に当たっては「児童が感じたことを自分で広げられるような指導の工夫が必要である。」とある。

これらのことから A 表現（1）造形遊びにおいて, 身体全体を使ってたつぷりと材料にかかわり, そこから得た感覚や感じ方, 色や形の気づきを児童自身が広めたり深めたりする学習を, より充実させることが大切であると考えた。その感覚や気づきの広まりや深まりが, 次の表現活動を活性化することになり, ひいては創造活動の基礎的な能力を伸ばしていくことにつながっていくと考える。

具体的には造形遊びの中で共通事項に視点をおいた鑑賞の学習を位置付けるなどの学習過程を工夫する。また, そこから得た感覚や感じ方や色や形の気づきを友人と交流していくことで, 自分なりの感じ方や, 見方が広がるようにしていきたい。さらにそこから得た自分なりのイメージ（〇〇みたい, 〇〇になりそう, 〇〇をやってみたい, こんな形やこんな色で, 表したい。）を基に, 思い付いた活動を実現させる発展的な造形遊びを設定することで, 児童が思いのままに表現できるようにしていきたい。

## 2 実践例

(1) 題材名 「しんぶんし大へんしん」

(2) 題材の目標

- 新聞紙に進んでかかわり, 造形活動を楽しもうとする。  
 （造形への関心・意欲・態度）
- 新聞紙の特徴を生かして, やってみたいことを思い付いたり, いろいろな表し方見付けて自分らしい工夫をすることができる。  
 （発想や構想の能力）
- 折る, 丸める, ねじる, 切るなど, 自分の表したいものにあつた自分らしい表し方を工夫して表すことができる。  
 （創造的な技能）
- 新聞紙の特徴やよさや面白さ, 友だちの新聞を生かした活動のよさや面白さに気付くことができる。  
 （鑑賞の能力）

(3) 題材について

### ア 題材観

本題材は, 新聞紙に身体全体でかかわり, そこで得た感覚や気持を基に表したいことを見つけ, 思いのままに楽しくつくることをねらいとした造形活動である。

材料である新聞紙は, 身近な材料である。薄く, 手でも容易に加工できるため, 破く, 丸める, ねじる, 折るなどのいろいろな表し方が工夫できる。また加工によっては柔らかい感じに, 小さく丸めたものはかたくなるなどいろいろな感じが確か

められる。大量に準備ができるため失敗をおそれずに何度でも試すことができ、低学年の児童にとっては、十分に材料にかかわり、思いのままにつくるのに適した材料であるといえる。

#### イ 児童の実態

本学級の児童は、図工が好きな児童が多い。工作などにも嬉々として取り組み、工夫して自分なりの表現を楽しんでいる。しかし中には、つくるものがすぐには思い付かず活動が停滞してしまう児童もいる。これは、自分なりのイメージ（〇〇をやってみたい、〇〇を使いたい、こんな形やこんな色で、表したい。）が具体的にもてないためであると考え、材料へのかかわりや、発想の段階での支援の必要性を感じた。また、児童が新聞紙を扱った経験はかぶとを家庭で折ったぐらいで、材料として出会うのはこれが初めてである。

#### ウ 指導観

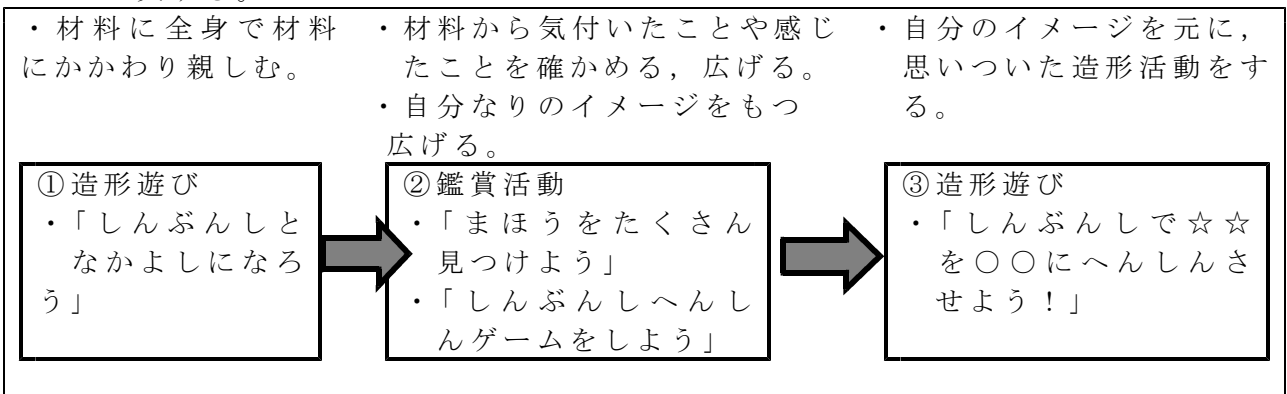
そこで、本題材では、まず「しんぶんしとなかよしになろう！」と呼びかけ、新聞紙に身体全体でたっぷりとかかわり親しむ活動を設定する。その後、活動から得た感覚や新聞紙のよさや面白さを味わう鑑賞活動を位置付ける。自分の感覚や感じたことを確かめたり、友人の見方や感じ方、表し方を知ったりすることで、材料の特徴を多面的にとらえられるようにしたい。さらに学んだことを発展的に生かすことができる造形遊び「しんぶんしで☆☆を〇〇にへんしんさせよう！」を設定する。ここでは友人との交流から発想やアイデア、が広がるようにグループでから活動をスタートさせる。児童が学んだ新聞紙の特徴を生かし、場所などをきっかけとして自分なりのイメージをもち、楽しみながら思いのままに表していく姿を期待したい。

#### エ テーマに迫るための手立て

本題材を通してテーマに迫ることができるように次のような手立てを講じる。

##### (ア) 学習過程の工夫

材料から気付いたことや感じたことを確かめながら、自分なりのイメージをもち、思いのままに表すことができるようにするために、以下のように学習過程を工夫する。



##### (イ) 材料から気付いたことや感じたことを掘り起こし確かめる鑑賞活動

①の造形遊びの後で、自分の活動を振り返ることができるように、②の鑑賞活動で「新聞紙で見つけたまほう」に名前をつける活動を行う。見つけた技法（丸める、折る、破く、など）だけでなく、見た感じや触った感じ、音、形から感じるイメージを「〇〇のじゅつ」として名前をつけていくことで、活動からの気付きをもてるようにしていきたい。活動は個人で行うが、「グループでたくさん見つけよう！」と呼びかけ、見つけたまほうをグループで共有できるようにしていく。

##### (ウ) イメージを広げる「しんぶんしへんしんゲーム」

グループ対抗のゲーム形式で、新聞紙の見立てゲームをする。新聞紙が何に見えるか何になりそうか、競争しながらアイデアを出し合うことで、楽しみながら、イメージを広げていけるようにする。

##### (エ) 友人とのかかわり

②の鑑賞活動や③の造形遊びでは、グループ活動を取り入れ、友人との交流か

ら，見方や感じ方，発想やアイデア，表現が広がるようにしていく。また，③の造形遊びの中盤には，グループごとに好きな時に1回は「新聞ランド」の探検にでかけ，友だちのよいところを見つけたり，アドバイスをしたりする活動を取り入れる。また，③の造形遊びの終盤では，「いいねカード」を使って友人の活動のよいところを認め合う鑑賞活動を設定する。

(4) 学習計画 (6時間取り扱い)

次	時 間	学習活動・内容	関心 意欲	発想 構想	技能	鑑賞
1	1	・新聞紙に全身でかかわり，思い付いた活動を試す。 「しんぶんしとあそぼう」	○	○		
2	1	・新聞紙のいろいろな表し方や感じたことを見つける。「しんぶんしのまほうをたくさん見つけよう」	○			○
	1	・新聞紙の見立て遊びをする。 「しんぶんしへんしんゲームをしよう」		○		○
3	2 (本時はその 1時)	・新聞紙の特徴や感じを生かして，自分なりのイメージをもち，表し方を考えてつくる。「しんぶんしで☆☆を○ ○にへんしんさせよう！」	○	○	○	
	1	・活動やつくったものを紹介し合い，自分や友人のよさに気付く。				○

共通事項の 視点から	・新聞紙とかかわりながら，形や材料のもつ感じをとらえ，そこからやってみたい活動や表したいものなど，自分なりのイメージをもつ。
---------------	--

(5) 学習の実際

- ◇ 目標 「☆☆を○○にへんしんさせる」活動に自分なりのイメージをもち，新聞紙の特徴や感じを生かして表し方を考えてつくることができる。
- ◇ 準備・資料 新聞紙，スズランテープ，セロテープ，クラフトテープ，輪ゴム，
- ◇ 展開

学習活動・内容	指導 ●手立てを講じた学習場面での評価
<p>1 学習課題をつかむ。</p> <p>しんぶんしで☆☆を○○にへんしんさせよう！</p> <p>2 「☆☆を○○にへんしんさせるか」ことについて話し合い，イメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話しあいから</li> <li>・教室やオープンスペースの働きかけたい場所からから</li> <li>・変身ゲームで出たでアイデアから</li> <li>・この場所を○○にしてみたい。</li> </ul> <p>廊下を迷路に 変身させたい</p> <p>教室をおばけや しきにしたい</p> <p>ぼくは戦士に変身 したい</p> <p>ソファをレストラン したい。</p>	<p>●手立てを講じた学習場面での評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時につくった自分のまほうや交流した掲示物や，気付いたことを想起させる。</li> <li>・BGMをかけながら，楽しくつくれるような雰囲気づくりをする。</li> <li>・活動場所を教室，オープンスペース，昇降口にまで広げて活動することを知らせ，場所を手がかりに発想を促す。</li> <li>・見方や感じ方，発想やアイデア，表現が広がるようにグループで活動をスタートさせる。</li> <li>・スズランテープを教室の窓から端まで渡しておき，空間の活用にも気付かせる。</li> <li>・前時につくった新聞紙の自分のまほうやみんなの新聞紙まほうの交流した掲示物や，気付いたこともイメージをもたせるための一助とする。</li> </ul> <p>●発想・構想の能力(観察)</p>

コックさんに変身  
するよ

- 3 自分なりのイメージに合わせて、試したりつくったりする。
- 4 「しんぶんランド」たんけんに行き友人の作品の良いところを見つけたり,アドバイスをしたりする。
- 5 試したり, 交流したり試したりしたことさらに 思い付いた活動を広げてつくる。
- 6 学習の振り返りをする。

やってみたいことを思い付き,新聞紙の特徴を生かして,自分らしい工夫を試している。

- ◆なかなか思い付かないで活動が停滞している児童には教師がいっしょにいろいろな活動を試したり, グループの友人からアドバイスをもらったりして, 次の活動のイメージがもてるようにする。
- ・グループの活動だけに限定せず, 思い付いた個人の変身もどんどん試すように助言する。
- ・製作途中にグループで好きな時間に,他のグループの活動の様子を見に行き, よいところやアドバイスを伝える時間を設定することで,活動が広がるようにする。
- ・活動のがんばり称賛し, 次時への意欲につなげるようにする。

◆は努力を要する状況の児童への手立て

### 3 指導の実際と授業の分析

#### (1) 各手立てと授業の実際

##### ア 学習過程の工夫について

新聞紙に身体全体でたっぷりとかかわり親しむ活動に,材料の特徴やよさを味わう鑑賞活動を位置付けたことは, 児童が活動から造形的な気付きをもつことにつながったととらえている。さらにそれを発展的に生かすことができる造形遊びを位置付けたことは,繰り返して新聞紙にかかわることになり, 児童の創造的な技能を高めることにつながったと考えている。

##### イ 材料から気付いたことや感じたことを確かめ, 広げる鑑賞活動について

次に示すのは鑑賞活動で使用したワークシートと児童が見つけたまほう(技法や

気づき)である。児童は,「ちよきちよき,びりびりのじゅつ」のように技法を見つけたり,「かちかち,くしゃくしゃのじゅつ」のように手触りから新聞紙をとらえていたりする記述があった。また「よろいのじゅつ」のように具体的に表現へのイメージをとらえているものもあった。

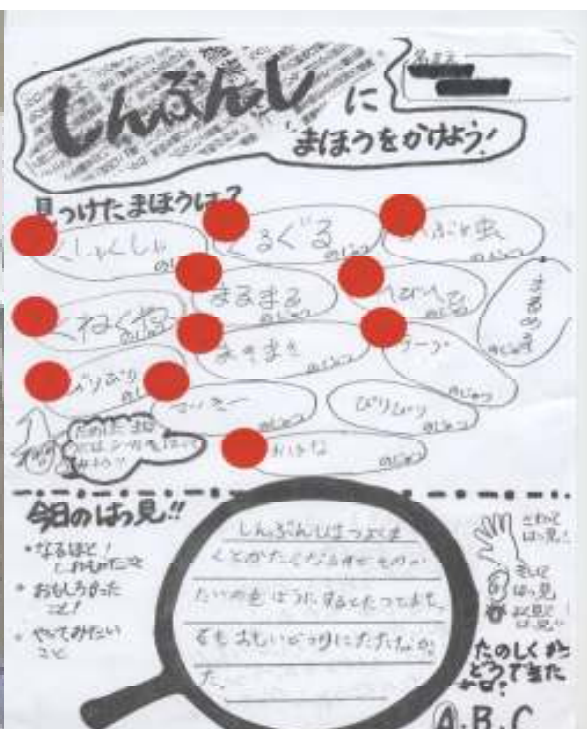
児童が新聞紙とかかわり見つけたまほうの例

- ・まるまるのじゅつ・ちよきちよきのじゅつ
- ・ひらひらのじゅつ・びりびりのじゅつ
- ・ころころのじゅつ・くしゃくしゃのじゅつ
- ・はるはるのじゅつ・ぐるぐるのじゅつ
- ・おりおりのじゅつ・しゃかしゃかのじゅつ
- ・かちかちのじゅつ・よろいのじゅつ

また,ワークシート(P5下参照)にはグループごとに見つけたまほう(新聞紙の表し方)がたくさん書かれていた。赤いシールは友人から聞いて, 実際試した表し方である。ほとんどの児童のワークシートに赤シール多くが貼られていたことから,友人との交流により,表し方が広がったと考える。また,発見の記述では,「やわらかかった」「丸めたらかたい」「くしゃくしゃって音がした」などの記述がみられた。これは,新聞紙と遊ぶ活動児童が材料である新聞紙に五感を生かしてかかわり,新聞紙の特徴を多面的にとらえることができたためであると考えられる。



● 材料にたっぷりかかわる造形遊び活動「しんぶんしとなかよし」  
「くしゃくしゃにするとやわらかいよ」「丸めたらボールだ」



● みんなで見つけたまほう

● 鑑賞活動で使用したワークシート

ウ イメージを掘り起こす「しんぶんしへんしんゲーム」

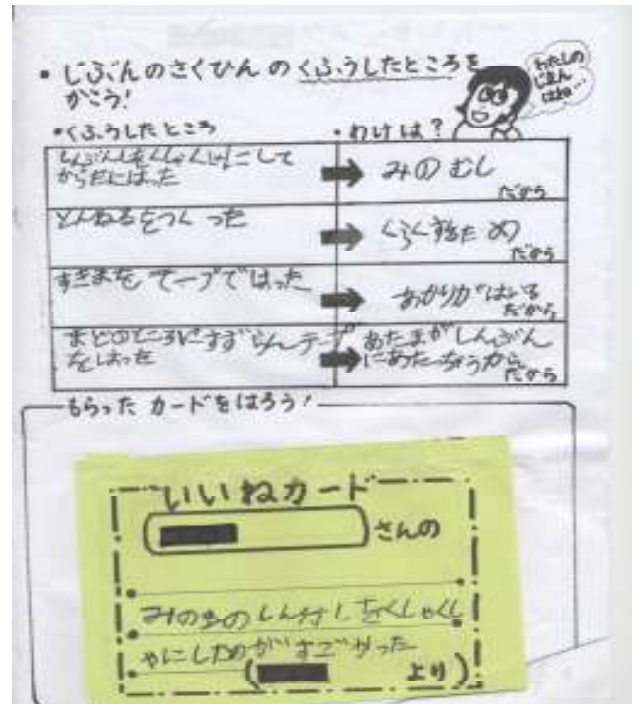
新聞紙が何に見えるか何になりそうかをクラス対抗で競う「しんぶんしへんしんゲーム」を実施した。友人と同じアイデアはつかってはいけないこと、15秒以内で答えないと答える権利が移ってしまうことをルールとした。子どもたちは楽しみながらいろいろなアイデアを出していた。アイデアがつまると即興で考えながら発表し、子どもたちからは「おお～！」など感嘆の声が出るほどで、結果全員で53個ものアイデアがでてきた。このことは、児童の見方や感じ方を広める一助になったのではな

いかと考える。

#### エ 友人とのかかわり

③の造形遊びでは、グループでの活動をスタートとした。児童は友人と交流することで、相談し助け合うことができたので、より活動が広がったようであった。いつも図工の工作の時間、活動が停滞しがちなK子は、友人の活動に誘発され、いきいきと、しんぶんレストランを開くことを目標に一生懸命取り組んでいた。学習後の児童へのアンケートからも、友人といっしょに活動して「話し合っただけでアイデアがすぐうかんだ」「いろいろな活動ができた」と答える児童が多くいた。このことから友人と交流することによって発想や表現が広がったということがわかる。反面グループによっては、強い友人に引っぱられ、あまり思いのままに活動できなかったと言う児童もいた。グループ編成の工夫が必要だと感じた。

#### ●造形遊びで使用した学習カード



#### ●造形遊び「しんぶんしで☆☆を○○にへんしんさせよう」の活動の様子

##### 「おばけやしきにするよ」

#### 4 研究のまとめ

材料を新聞紙として限定した中で行った造形遊びで、材料にたっぷりかかわる時間を保障し、共通事項に視点をおいた鑑賞の学習を位置付けたことは、材料の特徴を多面的にとらえることができ、その後の表現活動を活性化させたと考える。また様々な場面での友人とのかかわりが、児童の感じ方や、見方を広げる一助となった。また、友人とのかかわりの中での話しあいや学習カードによる自分の表現活動の学びのふりかえりという、共通事項の視点をもった言語活動を通して造形遊びが学びとして少しでも児童に残ったのではないかとかんがえる。

#### 5 今後の課題

言語を通じた友人とのかかわりが、表現活動や鑑賞活動において、大きな働きをすることを感じた。友人とのかかわりの中で学びあえるような学習活動の指導法を今後も探っていきたい。